

利賀っ子だより



R 3 . 5 . 1 2

○「水曜日は、好きなんだよ♪」

本校では、毎週水曜日は、昼休みが40分間あります。子供たちが存分に遊んだり、委員会や係活動等を行ったりして創意工夫して過ごす時間としています。

この日の昼休み、中学生も一緒に遊具で遊ぶ姿が見られました。遊具は、先週、育成会や山村留学センターの職員の方々に、設置していただきました。2年ぶりの遊具に歓声をあげながら楽しんでいました。

少子化で子供たちの社会性を育む縦のつながりの場が少なくなったとよく言われますが、利賀では、そんな心配はないようです。

「(休み時間が長いから) ♪水曜日は、好きなんだよ♪」と即興の歌を歌いながら教室に戻っていく子供がいました。遊具で遊んだこと、みんなで遊んだことの楽しさが即興の歌となって表れたのでしょ。



○ 心温まる言葉

コロナ禍での運動会開催ということで、育成会と協議の結果、今年度は山村留學生の保護者の皆様の来校をご遠慮いただくことになりました。この日を心待ちにしておられた山村留學生やその保護者の皆様の気持ちを思うと断腸の思いでの判断です。

全校の子供たちにこの判断について話したとき、利賀の子供が「ぼくたちばかり(家族が応援に来て)、ごめん。」と話しました。

その後、自分たちがどうすれば、山村留學生を励ますことができるかという話に発展しました。

子供たちが運動会の練習をしているそばでグラウンドの除草をしていた時のことです。1年生が走ってきて立ち止まり、「校長先生、ありがとう。」と声をかけてきました。

何のことかすぐに分からず、返事もできずにいたのですが、「運動会のために、(草を)むしってくれてありがとう。」と続けて話し、また、走って集合場所に戻って行きました。

子供たちの気持ちを受け止め、支えていこうと思っていますが、子供たちの心温まる言葉に、逆に励まされている自分がいると感じました。

(校長 高田 公美)